

4月は出会いの月。子どもたちとの出会いは、偶然であるが必然でもあると言います。その出会いが一生の絆となるように、学級づくりを通して子どもとの信頼関係を育んでいきたいものです。

子どもたちが学級の中で安心して自分を表現することができ、笑顔に満ちあふれた学校生活を送ることができるように、本年度も学級づくりのための情報を提供していきます。ご愛読をお願いします。



<小学校>

学級の基盤づくりに
エンカウンターを！

4月は、学年が進級することでクラス替えになる学年でも、そうでない学年でも期待や不安が入り混じる時となります。

集団への適応についての不安や緊張を和らげ、学級の中での自分の存在感や所属感をもたせるために、エンカウンターを取り入れてみませんか。



出会い

「おなまえピンゴ」「しつもんじゃんけん」などの楽しいゲーム等をする中で、新しい友だちと知り合えるようにしましょう。

ふれあい

「おたすけおひおに」「おんせつゲーム」などで、体を動かしたりシェアリングをしたりして、友だちのよさに触れられるようにしましょう。

自己紹介

「私はだれでしょう」「先生ってどんな人？」などで、まず教師から自己開示し、楽しい雰囲気の中で自分や友だちの紹介を合えるようにしましょう。

思いがこもった約束だから守れるよ！

学級のみんが気持ちよく生活していくには、学級の約束をみんなで決めて守ることが大切です。そこでは、次のようなキャリア発達が期待できます。



低学年：してよいことといけなことがあることが分かる。
 中学年：してはいけないことが分かり自制する。
 高学年：社会のルールや相手との約束を守るなど信頼される行動をとろうとする。

このようなキャリア発達を促すために、次のような話合いや振り返りを通して、思いやりや規範意識を高め、認め合える学級をつくりましょう。

<話合いでは> 学級の友だちにされてうれしかったこと、悲しかったことなど、互いの体験や思いを出し合い、みんなが気持ちよく生活するためにすべきこと、すべきでないことをまとめ、約束を決めましょう。
 <振り返りでは> 約束にかかわって、友だちにされてうれしかったことを中心に紹介し合い、温かな雰囲気の中で1日を締めくくる帰りの会をしましょう。

<中学校>

知ることが関係づくりの第一歩
～自己紹介の工夫～

新しい学級のスタート。人間関係づくりに欠かせないのが、お互いを知ることです。生徒同士のコミュニケーションを円滑にする自己紹介の活動を紹介します。

6～10人程度のグループをつくる。

テーマを示して、順番に自己紹介するよう伝える。
 テーマの例：「好きなこと」「好きな食べ物」等

次の人は、前の人をすべて紹介しながら自己紹介をしてつなげる。「～さんの隣の、～さんの前の……」

サッカーが好きなタカシです！



自然に教え合いが始まり、笑顔と拍手が教室にあふれます！



サッカーが好きなタカシさんの隣の、合唱が好きなヒロコです！

年度当初、オリエンテーション等で忙しい中ですが、グループやテーマを変えながら、朝の短学活や学級活動のはじめに行ってみてはいかがでしょうか。

「決めっぱなし」にしない学級目標の決定を！

「学級目標を決めて掲示したけれど、その後あまり意識することなく1年間が終わってしまったな」という経験はありませんか。「決めっぱなし」にせず、1年間の学級生活を充実したものにするための大切な「ツール」として活用できるように、次の点を意識して学級目標を決めましょう。



- 1 学級をよりよいものにしようという、みんなの思いが語られる話合いで決定していますか？学級目標を決める過程が学級への願いを高めるものです。
- 2 達成の評価が可能な学級目標になっていますか？
 1年間の学級での活動や行事を想定し、それぞれの場面でどのような姿になることが目標を達成に近づいたことになるかイメージしておくことが大切です。

目標の達成に近づける活動や行事ができれば、学級目標の掲示物に花を付けて喜び合うなど、目標達成への意欲を高める工夫も加え、常に学級目標を意識して生活できるようにしたいものです。